



2023年12月期 第3四半期

補足資料

2023年11月14日 (火)

株式会社ビーグリー (Beagle Inc.)

東証スタンダード : 3981

2023年12月期3Q エグゼクティブサマリー

売上高

14,452 百万円

(前期比 3.0% 増)

営業利益

1,271 百万円

(前期比 8.2% 減)

当期純利益

615 百万円

(前期比 15.9% 増)

- Pセグの「まんが王国」とCセグのデジタル出版が堅調に推移し、**前期比3.0%の増収**となった。
- Pセグ、Cセグともに**前期比で減益**となり、連結で**前期比8.2%の減益**となった。
- 営業外費用の削減と特別損失の未発生により、当期純利益は**前期比15.9%の増益**となった。

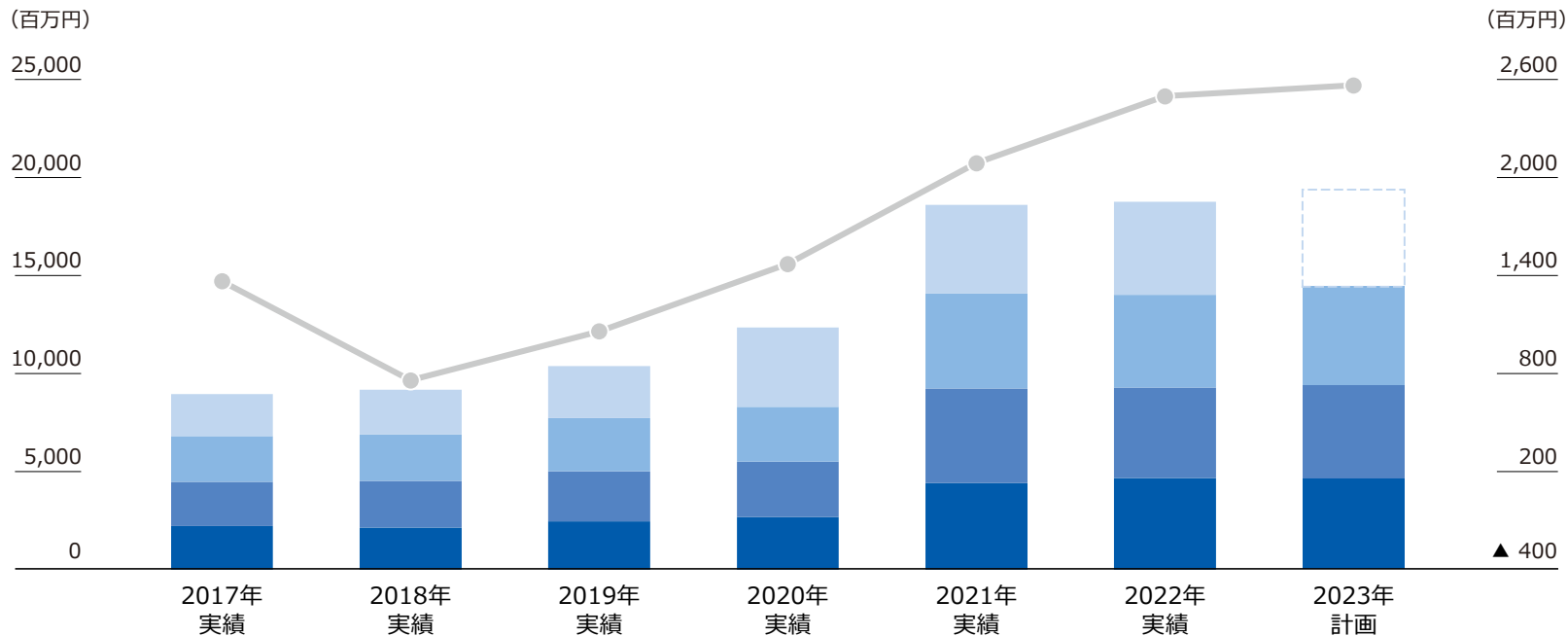
(単位：百万円)

P / L	2022年12月期	2023年12月期	前期比	
	3Q 累計	3Q 累計	増減額	増減率
売上高	14,035	14,452	+416	+3.0%
営業利益	1,385	1,271	▲113	▲8.2%
のれん等償却前営業利益	1,969	1,832	▲136	▲7.0%
経常利益	1,260	1,231	▲29	▲2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	531	615	+84	+15.9%
1株当たり当期純利益 (円)	89.10	102.56	+13.46	—

注：のれん等償却前営業利益は、のれん及び出版権償却前の営業利益

注：端数処理の都合、合計値は不一致

売上高・のれん等償却前営業利益



売上高 (■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q) —●— のれん等償却前営業利益

注: 「2023年計画」の売上高は3Qまで実績値、のれん等償却前営業利益は計画値

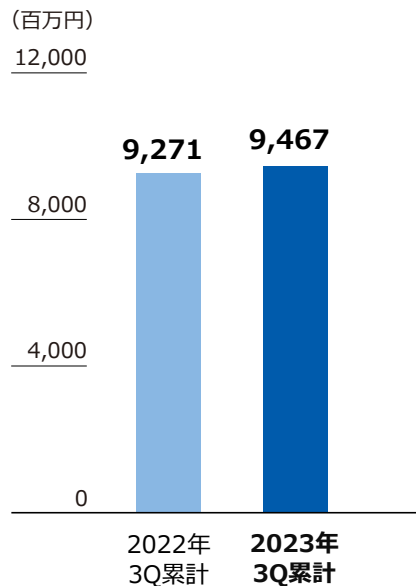
(単位：百万円)

B/S	2022年12月期末		2023年12月期 第3四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	8,807	46.3%	8,828	47.9%	+20	
固定資産	10,232	53.7%	9,595	52.1%	▲636	のれん 84.7億円 出版権 4.7億円
資産合計	19,039	100.0%	18,424	100.0%	▲615	
負債合計	12,725	66.8%	11,554	62.7%	▲1,170	D/E レシオ 0.89
純資産合計	6,314	33.2%	6,869	37.3%	+555	
負債・純資産合計	19,039	100.0%	18,424	100.0%	▲615	
自己資本比率	33.2%		37.3%			

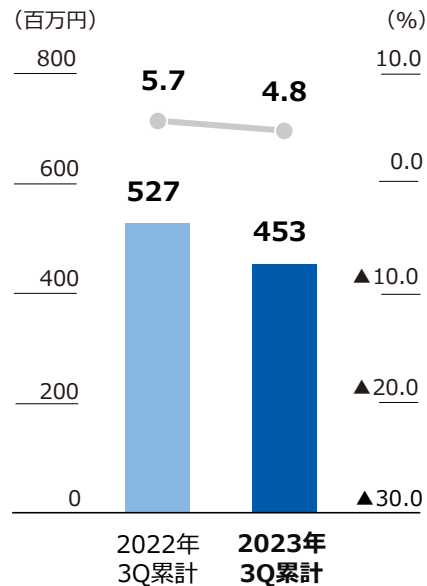
注：端数処理の都合、合計値は不一致

プラットフォームセグメント…コミック配信サービス「まんが王国」の運営、まんが王国オリジナル作品のデジタル出版、その他周辺ビジネス

売上高



営業利益・営業利益率



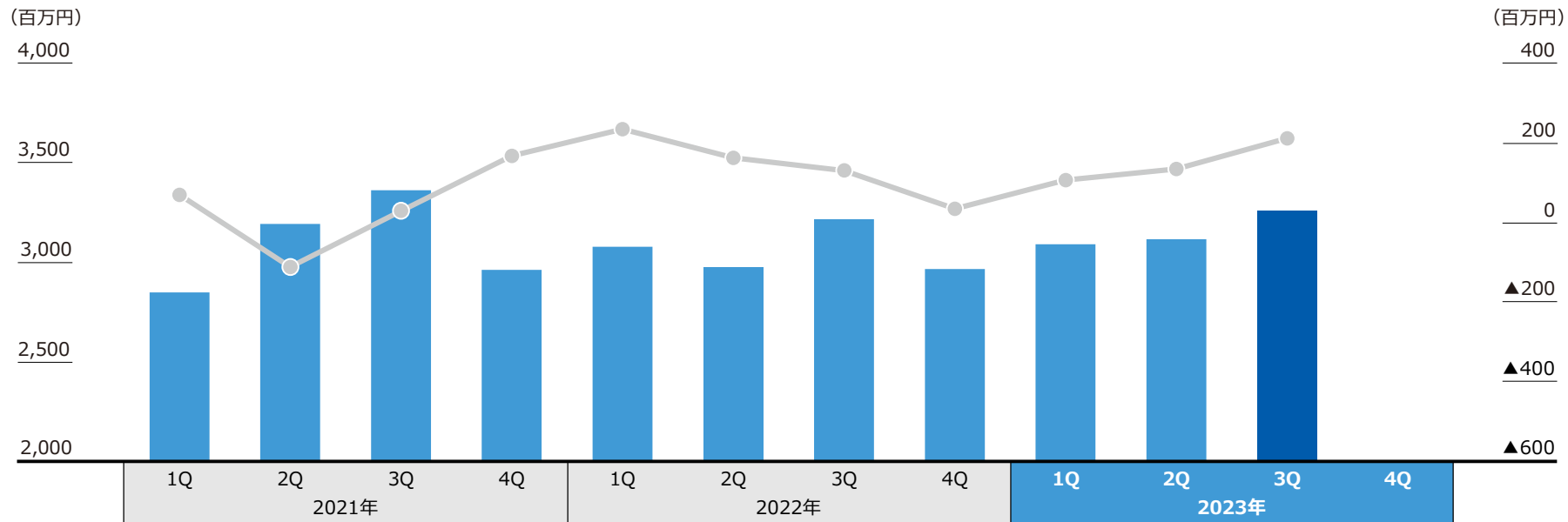
売上高

- 売上高はYonY102%、『まんが王国』の売上高はYonY103%となったが、計画に対してはやや下回った。
- 第3四半期の『まんが王国』の売上高はQonQ105%、YonY102%となった。

営業利益

- 売上高・粗利益は前期比微増となったが、広告宣伝費を中心に販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は、YonY▲73百万円となった。一方で、計画に対しては順調に推移。
- 広告宣伝費は計画通りに消化が進んでおり、前期においては、広告市況を鑑み抑制していたことから、YonY+113百万円となった。

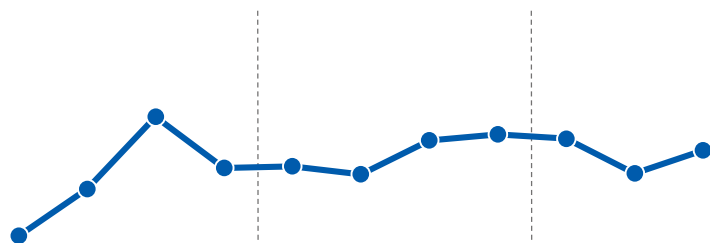
Pセグ 売上高・営業利益



■ 売上高 ● 営業利益

注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

MAU

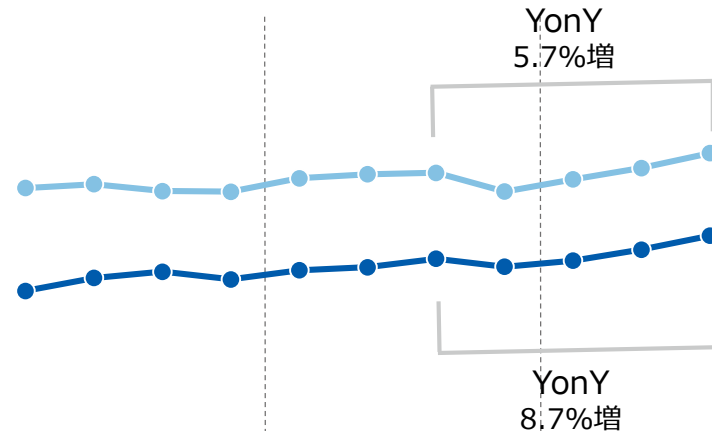


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2021年				2022年				2023年			

● MAU

『まんが王国』を訪れた会員数の推移

ARPPU (課金・消費)



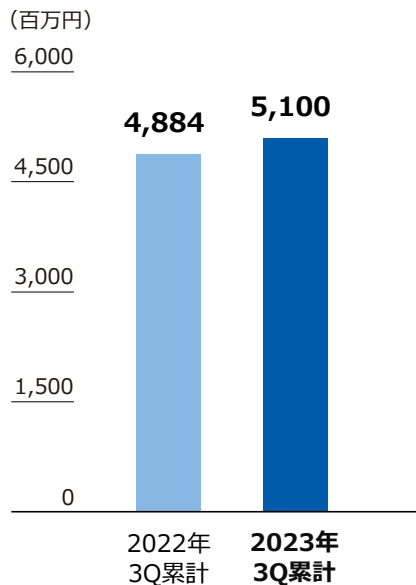
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2021年				2022年				2023年			

● 課金ARPPU ● 消費ARPPU

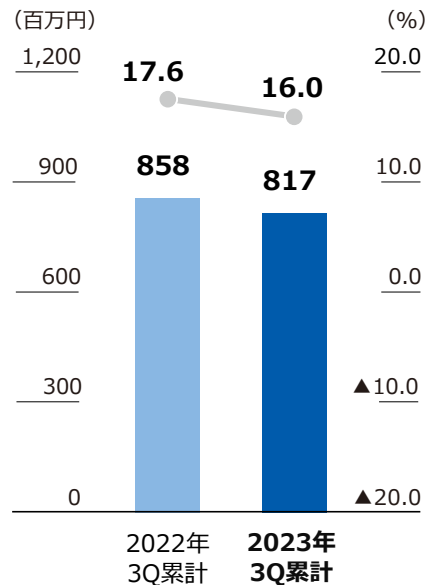
課金額・消費額を有料会員数で割った金額の推移

コンテンツセグメント…ぶんか社を中心とする書籍・雑誌の出版、及び、それらのデジタル出版

売上高



営業利益・営業利益率



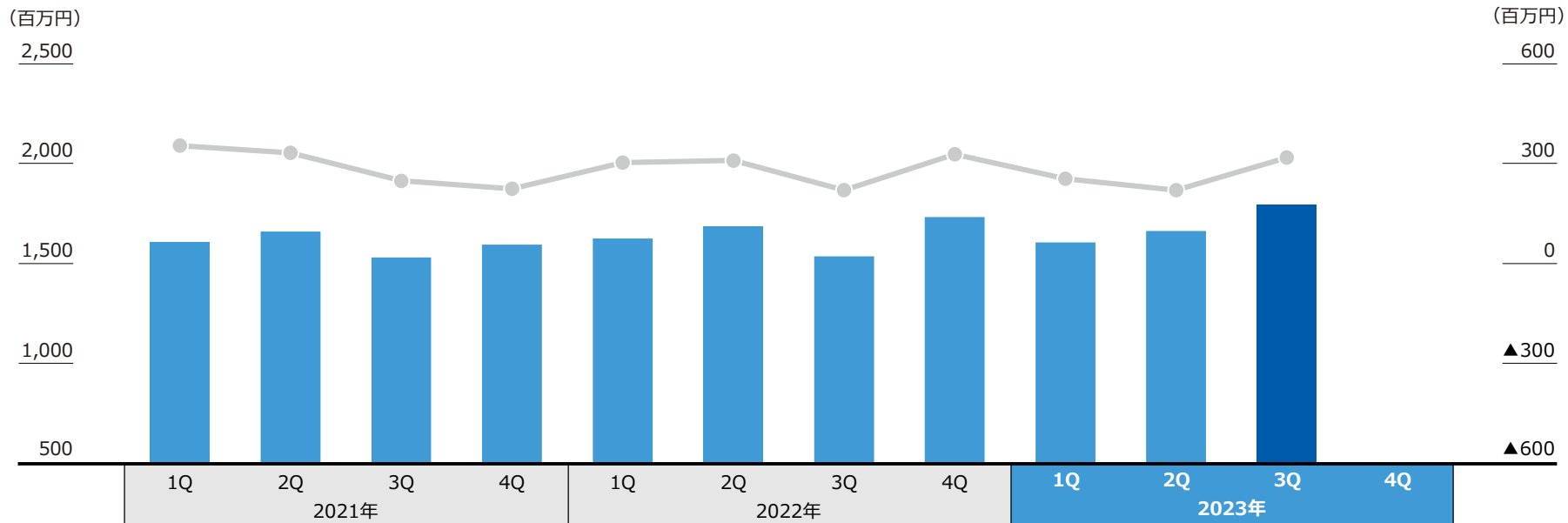
売上高

- 第3四半期のデジタル売上高は過去最高となり、累計期間においては、YonY108%の3,426百万円となった。
- 紙出版売上高は、依然として返品率が増加傾向にあり、YonY98%となった。
- 上記により、セグメント売上高はYonY104%となった。

営業利益

- デジタル粗利益は、堅調な売上を受け、前期比で増加した。
- 紙出版においては、売上高の減少に加え、紙原価の高騰と編集人員の増加により、粗利益は前期比で減少した。
- 上記に加え、採用費・人件費を中心とする販売費及び一般管理費の増加により、営業利益はYonY▲40百万円の着地となった。

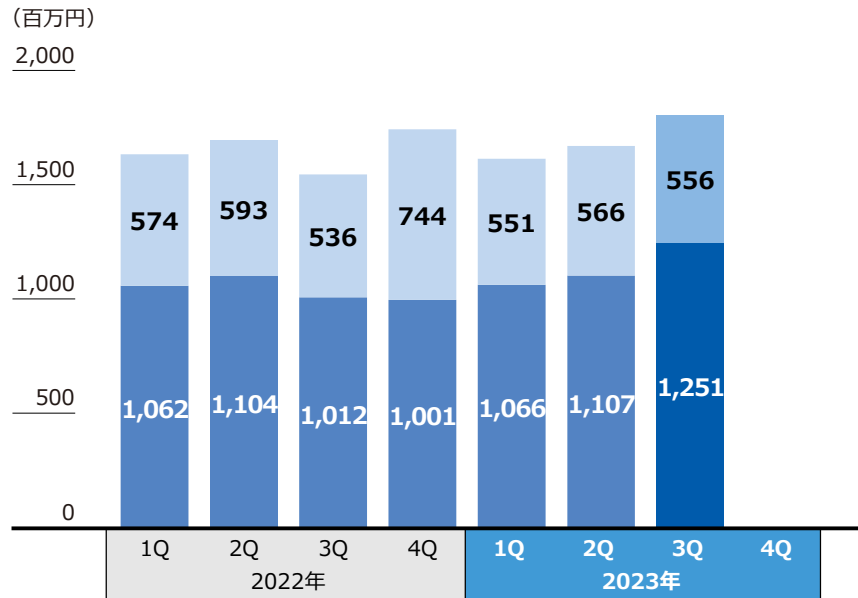
Cセグ 売上高・営業利益



■ 売上高 ● 営業利益

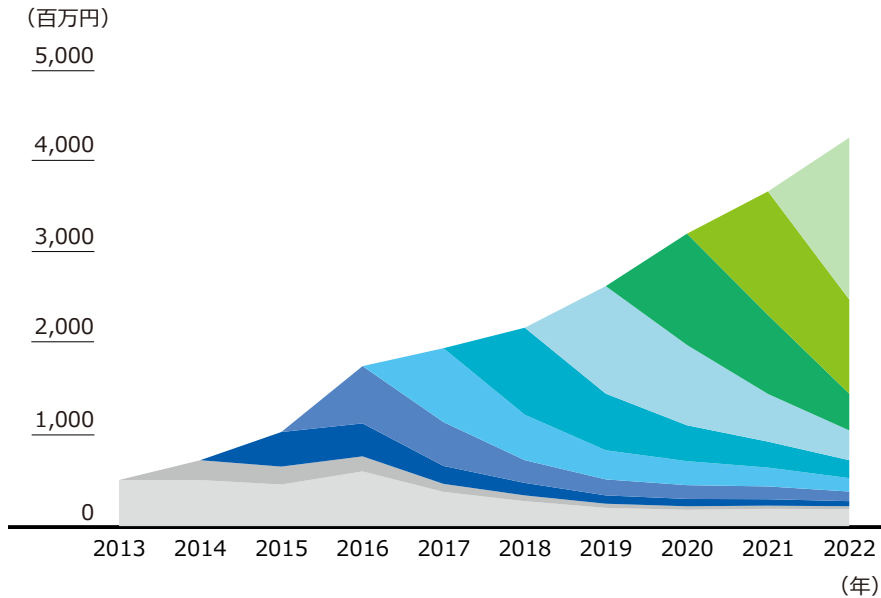
注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

Cセグ 売上高



注：端数処理の都合、合計値は不一致

デジタル売上高と配信開始時期



■ 2013年 ■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年
■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年

注：管理会計数値のため、財務会計数値と不一致

2023年2月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

P/L	前期実績	2023年12月期 予想		参考		
	通期	通期	増減額	増減率	上期	下期
売上高	18,713	19,622	+908	+4.9%	9,499	10,122
営業利益	1,755	1,822	+66	+3.8%	850	971
のれん等償却前営業利益	2,534	2,570	+35	+1.4%	1,224	1,345
経常利益	1,608	1,766	+158	+9.8%	822	943
当期純利益	664	900	+235	+35.4%	406	493
1株当たり純利益（円）	111.34	150.80	+39.45	—	68.11	82.69

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com